



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (7月18～31日)

1. イラン産原油の支払 (7月18日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙)

インドは、2013年2月7日より、イラン産原油の支払代金のうち、トルコ・ハルク銀行経由で支払いを行ってきた55%分が支払不能となっていたが、現在、輸入代金の全額をインド国内のUCO銀行にて、インド・ルピーで支払うことができるようになった。しかし、イラン側の課題は、これらの代金をどのように活用するかである。

2. パキスタンとのバーター取引 (7月18日付アブラーレ・エグテサーディー紙)

エネルギー省のベフザード次官は、パキスタンとの間で、電力と小麦(900万米ドル分)のバーター取引を行うことで合意したと述べた。パキスタンに供給していた電力料金5,100万米ドル分が回収できずにいたが、米と同様、小麦に関してもバーター取引を行うことで合意した。

3. 米国からの輸入車 (7月22日付ILNA)

El Khodro Aras社による、初となる米国からの輸入車(GMシボレーカマロ・2013年式モデル)がテヘランのイマーム・ホメイニー国際空港に到着した。同車の最終目的地は、イラン北部のアラス自由貿易特区(Asas Free Trade-Industrial Zone, AFZ)である。

4. 中国のイラン産原油輸入量 (7月23日付ハムシャフリー紙)

2013年6月における中国のイラン産原油輸入量は、日量384,980バーレルとなり、前年同期比39%減、前月比31%減となった。過去6ヵ月間での平均輸入量は日量424,183バーレルであり、前年同期比1.9%減である。

5. 米国による新たな制裁 (7月24日付ドンヤーイエ・エグテサーディー紙)

米国議会は、イランの鉱業および建設業全般に対し、制裁を科すことを検討している。これらの産業について米国は、革命防衛隊と深く関連していると見ており、2014年に施行することを目指している模様である。

6. 韓国車種の製造 (7月24日付)

Ramak Khodro社(韓国双竜自動車車種を製造するメーカー)マーケティング部長は、同社がガズヴィーン州で買収した工場にて、双竜自動車の「Actyon」ブランドの製造を新たに開始す

ると述べた。

7. 年間インフレ率（7月25日付イーラーン紙）

イラン中央銀行は、ヒジュラ太陽暦1392年ホルダード月（2013年5月22日～6月21日）における月間インフレ率が、45.1%に上ると発表した。個別内容では、食料・飲料が56.3%、タバコが94.7%、衣料品が64.7%、通信費が12.1%、教育費が11.5%値上がりした。

8. 電力消費量（7月27日付ケイハーン紙）

エネルギー省のベフザード次官は、7月26日の国内電力消費量が、過去最大の約10億キロワット／時を記録し、現在の所、余剰電力が500キロワット／時しかないと述べた。電力増加の要因は、ガス・クーラーおよび省エネ基準を満たさない電化製品の使用増によるものとし、国民に対し、省エネを呼びかけている。

9. 失業率と雇用創出（7月28日付シャルグ紙）

イラン統計センターは、過去8年間で54万2,000人分の雇用が創出されたと発表、前年の失業率は12.2%に達したことを明らかにした。アフマディーネジャード政権は、過去8年間で約700万人分の雇用を創出するとしていた。

10. 中国への地下鉄車両発注（7月29日付シャルグ紙）

交通・燃料管理委員会のジャファールプール副委員長は、中国に滞留するイラン産原油収入の回収のため、エスファハーン、シーラーズ、タブリーズ向け地下鉄車両315台を中国に発注したと述べた。

11. 公定レート of 廃止（7月31日付シャルグ紙）

イラン中央銀行監督局は、基礎物資・医薬品等に対する1米ドル=12,260リヤールでの外貨割り当てを廃止する内容の通達を発行した。同通達では、これらの物資の輸入に対しては、新たなレート（1米ドル=25,000リヤール前後）で外貨を割り当てるとしている。なお、税関からの通達は発せられていない。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799